

インフルエンザ・胃腸炎様症状に注意

夏休み明け、沖縄県内でインフルエンザがじわじわと流行しており、9月14日の県内の児童生徒の罹患報告数は、1104人でした。(学校感染症情報収集システムより)

また、東村内では《おう吐・発熱・下痢》などの胃腸炎様症状の報告が相次いでいるようです。つきましては、手洗い、マスクの着用等基本的な感染症対策と、毎日の健康観察(検温)の実施をお願いいたします。また、体調がすぐれない場合は、無理せずしっかり休養するようにしましょう。



インフルエンザ

せきや鼻水などかぜ症状からはじまり、全身倦怠感や筋肉痛の症状が急速にやってきます。
潜伏期間は約2~3日です。

- 38℃以上の高熱、
- せき、のどの痛み
- 筋肉痛、関節痛
- くしゃみ、鼻水、鼻づまり 等

新型コロナウイルス感染症

インフルエンザとよく似た症状が多いです。
潜伏期間は約2~5日と、インフルエンザより少し長めです。

- 平熱~高熱
- 全身倦怠感
- 筋肉痛、関節痛
- 味覚障害、嗅覚障害 等

胃腸炎

急性の場合、ウイルスや細菌などへの感染が原因となること(感染性胃腸炎)が多く、前触れなく突然発症します。

- 発熱
- 吐き気、おう吐
- 腹痛、下痢
- お腹の張り 等

予防のために



マスクをつけよう



こまめに洗おう



たいおん ちえつく
体温チェック

とくに大切なのは手洗い。手洗いは、自分の健康を守るために簡単かつ最も有効な方法です。

★食事の前 ★トイレのあと ★外から帰ってきたときは、石けんを使ってしっかり手を洗いましょう。

